

有限会社修美社

最新型特殊印刷機導入による「おもしろ印刷」事業の拡大

3年前から取り組んでいる新たな印刷需要掘り起こしのための「おもしろ印刷」事業を拡大するために最新型特殊印刷機を導入し、これまで不可能だった印刷を可能にすることで、さらなる需要創造を目指す事業。

■代表者 代表取締役 山下 泰茂

■設立 昭和35年5月6日

■資本金 3,000千円

■従業員数 14人

■業種 印刷・関連連業

■所在地 〒604-8492

京都府京都市中京区西ノ京右馬寮町2-7

■TEL・FAX 075 (841) 3432・075 (812) 5345

■URL <http://www.syubisya.co.jp>

■E-mail office@syubisya.co.jp

■拠点 〒604-8492

京都府京都市中京区西ノ京右馬寮町2-7

事業の概要

■テーマ

H-UV印刷機導入による「おもしろ印刷」事業の推進

■目的

印刷業界においては、小ロット・短納期・低コストが求められており、その対応が生き残りの必須条件となっています。

一方、付加価値の期待できる新たな印刷需要掘り起こしを行うためには、「おもしろ印刷」事業を深化させることが重要であり、印刷に対しての制約を出来る限り無くす必要があると考えています。例えば、フィルムへの印刷や品質トラブルが発生しやすいべた塗り印刷の受注を可能にすることで、さらなる需要創造を目指します。

また、印刷業界は3K職場と言われる様に就職先として避けられる傾向にあり、最近の人手不足で、ますます拍車が掛かっています。今回導入したH-UV印刷機は、作業環境も改善することが出来、「おもしろ印刷」事業の認知度アップと共に雇用の促進にもつなげたいと考えています。

事業の内容

■事業取組の経緯

印刷業界は、5兆円を超える市場規模ですが、インターネットの普及により、紙を媒体にした広告やパンフレット、雑誌などの市場は、徐々に縮小しています。また、大手2社で約50%を占めており、大小約3万社がひしめいている状況です。その様な経営環境の中で、小ロット・短納期・低コストを求められ厳しい経営状況が続いています。

修美社は、最新のデジタル式の印刷機や出力機器の導入等により、企業の大ロットのものから製作会社や個人向けの小ロット品への対応を図ってきました。また、特殊インキの調合作業を職人の技術に加えて、コンピューターによる調色や測色を組み合わせることで印刷品質の向上に努めてきました。更に、3年前から「おもしろ印刷」をコンセプトに新たな事業として差別化を図ってきました。

今回の補助金において、「おもしろ印刷」を更に深化させると共に、お客様の厳しい要求に対応することを目指しています。

■「おもしろ印刷」とは

「印刷っておもしろい」その気持ちをお客様と共有してこそ心に届く作品が生まれる。修美社は、そう信じています。この印刷物を使う人、デザインした人、写真を撮影した人、文章を書いた人、そ

して印刷をした人・・・1枚1枚に、たくさんの作り手の想いがぎゅっと凝縮されています。その想いに応えるべく、内容に合う紙は？もっときれいに見せるには？手に取った人に楽しんでもらえる加工は？修美社は常に考えています。

例えば、黒インキ1つとっても赤みの黒や青味の黒などメーカーや品番によって異なります。色目の異なる黒をうまく組み合わせることで斬新なデザインが出来上がります。この様に調色技術はもちろんのこと素材や印刷技術を組み合わせることで無限の可能性が広がります。

また、本来リサイクルされる“紙出”と言われる裁断後に余った紙やB級品についても、利用価値を求めています。世界にたった一つしかないノート。ポスターを再利用した封筒など、有効利用とは思われない商品など、修美社は限りある資源を最大限生かすことを考えています。

■PRINTING Lab

修美社では、印刷だけでなく、企画やデザインの段階から製作に参加し、紙の素材や印刷方法の提案を行っています。お客様と実際のサンプルを手に取りながらお互いの考えが出し合えるように、昨年に工場内にPRINTING Labを設置しました。

PRINTING Labでは、修美社独自のサンプルを常時展示しており、訪れたお客様が商品のイメージが出来る様になっています。また、刷り上がった「試作品」について、職人も含めて意見を取り交わすことで、お客様が納得できる商品を創り上げることを目指しています。



PRINTING Lab

■H-UV印刷機の導入

H-UV印刷機とは、省エネオゾンレスUVランプと専用の高感度紫外線硬化型インキを用いた革新的なUV乾燥システムからなる最新式の印刷機です。H-UV印刷機の導入により、これまで出来なかった印刷が可能になるとともに、職場環境の改善が期待できます。H-UV印刷機の主な特徴は次の通りです。

①トータルリードタイムの短縮

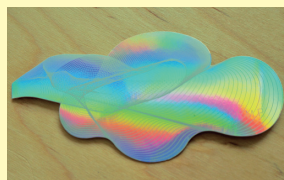
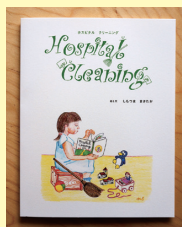
インラインで瞬時に乾燥させるため、従来の油性印刷と比べると

企業概要

修美社は、印刷にまつわる“気になる”の全てを、一緒に考え、提案することが役割と考えています。DTPの仕組みから印刷までを熟知したプリンティングディレクターはじめ全社員が「印刷っておもしろい」という気持ちをお客様と共有し、単なる印刷物ではなく、世界にたった一つの作品として、工場から送り出しています。

主要製品

書籍、写真集、会社案内、DM、クリアファイル



印刷リードタイムが飛躍的に短縮され、後工程も直ぐに加工できます。

②パウダーレスによる品質の向上

油性印刷の場合は、パウダーが必要ですが不要となります。このため、粉落ちのトラブルや後工程での表面処理もし易くなります。

③環境負荷の低減

省エネに加えて発熱量が抑えられるため、熱変形を防止できます。また、オゾンの発生防止や低臭気により、職場環境の向上に貢献出来ます。



H-UV印刷機

事業の成果

■紙への制約が無くなりました。

従来の油性インキでは加工が出来なかった厚手の紙や特殊加工された紙への印刷が可能となりました。これにより、紙への制約が無くなるとともに、フィルム等への加工も可能となり、クリアファイルなどこれまで提案することが出来なかった様々な用途への展開が可能となりました。

また、印刷後にパウダーを使わなくなったために、オンデマンド印刷機での追い刷り、PP加工やプレスコートといった表面加工等、これまで難しかった印刷物への対応が可能になりました。

■品質とリードタイムが向上しました。

これまでの油性インキでは、特に全面印刷の様なべた塗りを行う場合、乾くまで時間が掛かるため、擦れや裏付き等の印刷事故が発生するため、提案し難い状況でした。また、印刷後、直ぐに裁断や折などの加工も出来ないため、リードタイムへの阻害要因となっていました。

今回導入したH-UV印刷機に用いるインキは瞬時に硬化するため、べた塗りでの印刷事故の心配が無くなったため、これまで提案が出来なかった高度な印刷が可能となり、写真集として採用頂くこ

主要取引先

デザイン制作会社、印刷会社、大学

主な保有設備

印刷機：菊半裁4色機H-UVリスロン26 (小森コーポレーション)

印刷機：菊半裁4色機 リスロン26 (小森コーポレーション)

加工機：ホリゾン製 ロータリーダイカット打ち抜き機

刷版・出力：CTP四六半裁対応Luxel T-600CTP E

刷版・出力：FUJIFILM WORKFLOW XMF

CCM (コンピューターカラーマッチング)

とになりました。

リードタイムについても、印刷後直ぐに裁断機や折り機での加工を行うことが出来る様になったため、短納期での受注が可能となりました。また、セットアップ時間も短縮できたため、これまで以上に小ロット多品種対応が可能となりました。



写真集

■新規採用が出来ました。

当社は、印刷現場の意見を取り入れながら新規印刷物の開発や、難しい課題への挑戦を行ってきました。これから「おもしろ印刷」を更に広げて行くためには、様々な能力を持った人材を雇用・育成していくことが必須と考えています。しかし、これまで3K職場と言われる印刷業界のイメージなどもあり、応募者が少ない状況でした。

積極的な情報発信に加えて、新規設備導入による職場環境の改善の効果もあり、今年の4月に大卒社員を含め3名を新規採用することが出来ました。フレッシュな考えを取り入れることでこれまでに無い発想で新しい印刷物の提案を行っていきます。

今後の事業展開

当社の強みである提案力に加え、お客様の要求に応えることでお客様に満足して頂くことを目指します。

■「おもしろ印刷」の追究

今回導入したH-UV印刷機により、これまで制約のあった表面加工を行った紙やフィルム素材に印刷することで、これまで無かった印刷物への挑戦を行っていきます。また、印刷技術や企画力を活かして、他の印刷会社で出来ないような特色のある商品開発を行っていきたいと考えています。

■超短納期・小ロット・高品質・低コストの追究

印刷業界では、色目の判断が目視で行うことが多いのに対し、修美社では、目視と測色器による数値評価で行うなど、印刷品質についてこだわりを持っています。また、最新式の打ち抜き機を導入するなど、H-UV印刷機との相乗効果で、お客様の厳しい要求に応えるよう努力を続けます。